

投資事業評価調書（新規）

| | | | | | |
|------|-----------------|---------------------|-----------------------|----|----------------|
| 部課室名 | 県土整備部 土木局港湾課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 港湾課長 澄田 泰造 (高谷 和彦) | 内線 | 4440 (4455) |
|------|-----------------|---------------------|-----------------------|----|----------------|

| | | | | | |
|--|--|--------------------|---|-------------|------------------|
| 事業種目 | 港湾事業 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 6.2億円 (8.2億円) |
| | | 海域環境創造 ・自然再生等事業 | 尼崎西宮芦屋港 (尼崎地区) | 内地地補償費 | 0億円 |
| 所在地 | | | 事業採択 予定年度 | 着工予定 年 度 | 完成予定 年 度 |
| 尼崎市鶴町他 | | | H19 | H19 | H23 |
| 事業目的 | | | 事業内容 | | |
| <p>運河水域の水質浄化</p> <p>尼崎臨海部の運河水域は、海水交換が少なく、運河への流入負荷を排出することができず、有機汚泥の堆積が進んでいる。このため春夏秋を通してほとんどの日の海水がこげ茶をしており、透明度も1m以下となっている。また夏季の底層DOは0に近く、ほとんど生物が棲めない状況である。本事業ではこれを解消し、少しでも青い海に近づけることで地域のイメージを向上することを目的とする。</p> | | | <p>干潟造成 2箇所(24,000㎡)</p> <p>浅場造成 1箇所(16,000㎡)</p> <p>エアレーション施設 7箇所</p> <p>エコシステム護岸 2箇所(200m)</p> <p>風力発電施設(調査中) 1箇所(1,000kw)</p> <p>[負担割合 国:5/10,県:5/10]</p> <p>総事業費の括弧書きは風力発電施設を含めた事業費</p> | | |
| 評価視点 | 評価結果の説明 | | | | |
| (1)必要性 快適性・ゆとり | <ul style="list-style-type: none"> 快適で親水性豊かな港湾景観の向上に寄与する。 海原風景でもある、青い海、底の見える海、魚影の見える海をとりもどす。 実証実験により、エアレーションはアジ、サヨリなどの魚群が参集する効果があることが実証され、住民からも好評を得た。 | | | | |
| 地域の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> 運河水域を清浄な環境にすることにより、人が集まり、憩える空間を提供できる。 公害の街尼崎のイメージを払拭し、あらたな企業進出、地価向上など地域の活性化に寄与する。 | | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 尼崎21世紀の森構想に基づき、陸域では森づくりが進められているが、これと連携し、水域においても市民参加、企業参加により、順応的管理手法を取り入れながら、継続的に水質浄化の取り組みを広げていくことが必要である。 | | | | |
| (2)有効性・効率性 有効性 | <ul style="list-style-type: none"> B/C = 3.0 成果指標 透明度1.5m以上、夏期底層DO 3mg/L以上 | | | | |
| 効率性 | <ul style="list-style-type: none"> エアレーション等への電力供給は風力発電でまかなうため、維持管理費を軽減することができる。 | | | | |
| (3)環境適合性 | <ul style="list-style-type: none"> 本事業により運河内生物層が豊かになる。 電力供給を風力発電でまかなうため、環境負荷を増加させない。 | | | | |
| (4)優先性 | <ul style="list-style-type: none"> 大阪湾再生行動計画において重点エリアに位置づけられている。 | | | | |